

都市をみどりで包む『垂直花壇』など緑化技術の数々が、この秋 首都圏で7年ぶり『全国都市緑化かわさきフェア』に集結！

全国都市緑化フェアは、国民ひとり一人が緑の大切さを認識するとともに、緑を守り、愉しめる知識を深め、緑がもたらす快適で豊かな暮らしがある街づくりを進めるための普及啓発事業として、昭和58年(1983年)から毎年、全国各地で開催されている国内最大級の花と緑の祭典です。

令和6(2024)年度は、市制100周年を迎える川崎市において、首都圏では7年ぶりに「全国都市緑化かわさきフェア」が、全国初の秋と春の2期の開催スタイルで、10月19日(土)から開幕しており、中盤を迎えています。

かわさきフェアにおいては、市街地内の会場という立地特性を生かして、新たな緑地確保が困難な都市空間において、高密度に都市化された場所でもみどりの空間を創り出す代表的な都市緑化技術が集結しました。

3つのコア会場(富士見公園、等々力緑地、生田緑地)のうち、JR川崎駅に近い富士見公園会場では、十数種類の技術をさわって比較できる『垂直花壇Vertical Gardens』や、造園技術者が腕を競う『庭園出展コンテスト垂直花壇部門』、まちの立体空間を彩る『ハンギングバスケット』(11/8まで：プロによる作品、11/9～コンテスト)など、多数の先進的な都市緑化技術の数々が、期間限定で出現します。

我が国の未来のみどりのまちづくりに実用可能な様々な技術を、是非、この秋の会期中(11/17まで)にご覧ください。

【開催概要】

1 名称・愛称

名称：第41回全国都市緑化かわさきフェア / 愛称：「Green For All KAWASAKI 2024」

2 主催者等

提唱：国土交通省 / 主催者 川崎市、公益財団法人都市緑化機構

実施主体：川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会

3 開催期間等

秋会期 令和6年10月19日(土)～**11月17日(日)** (30日間) 9時30分～17時00分

※**富士見公園会場は、期間中毎日、21時まで特別ライトアップ演出**があります。

※春会期は、令和7年3月22日(土)～4月13日(日) (23日間)

4 富士見会場に展示する都市緑化技術の代表例

① 垂直花壇 Vertical Gardens



② 庭園出展コンテスト



③ ハンギングバスケット



参考 1)

① 垂直花壇 バーティカル ガーデンス Vertical Gardens

都市の立体空間を様々な環境条件やニーズに応じ、みどりで包む国内の先進的な壁面緑化技術を展示。壁面基盤型・登はん型など、十種類以上のタイプを展示しています。



写真：地元高校生がデザイン・植栽した壁面緑化



写真：日本を代表する様々なタイプ別の壁面緑化

② 庭園出展コンテスト

「みどりのベランダ部門」「みどりのワークスペース部門」「垂直花壇部門」の3部門により、都市の中でみどりを身近に取り入れるライフスタイルの実現を提案します。

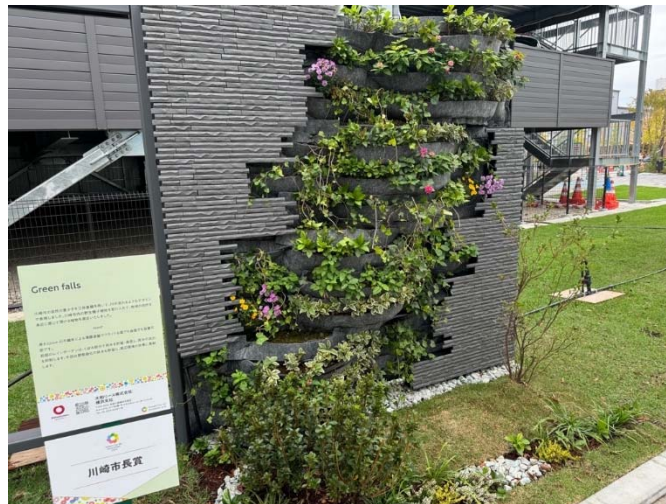
・みどりのベランダ部門（市長賞の例）



・みどりのワークスペース部門（国土交通大臣賞の例）



・垂直花壇部門（市長賞の例）



③ ハンギングバスケット

様々な花が調和する立体の彩り。11/8まではプロによる作品、11/9からはコンテスト作品が並びます。



参考2) 富士見公園会場

- ・全国都市緑化かわさきフェアを統括・代表する会場で、公式行事やコンテスト等も開催します。
- ・フェアにあわせてリニューアルオープンした新しい公園を基盤とし、街の暮らしの中に花やみどりを取り入れたくなるを展示・解説しています。次の100年に向けて、都市が目指すみどりのまちづくりを実現する技術や考え方を発信します。
- ・前述で紹介した技術展示のほか、入口には、高さ約3m幅約17mのフラワーゲートや、没入体験型の大規模なメインガーデン（京浜工業地帯の中核都市として我が国を支えた川崎の工業都市としての歴史と、みどり豊かな環境先進都市への移り変わりを、工場モチーフやダリア・コスモスなどの花畑、鏡の柱で表現）が迎えます。
- ・メインガーデンは、期間中毎日、21時まで夜間の特別ライトアップを実施し、花と緑、光が作りだした幻想的な空間を御覧いただくことができます。



↑メインガーデンの工場モチーフ
 工場風景(過去)がだんだん緑に包まれ
 やがて幸せの花壇(未来)に視界が開ける



→夜間の特別ライトアップ（会期中毎日21時まで）
 ガーデンに光の粒を散らし、鏡面に光の輪が
 映るライトアップを実施

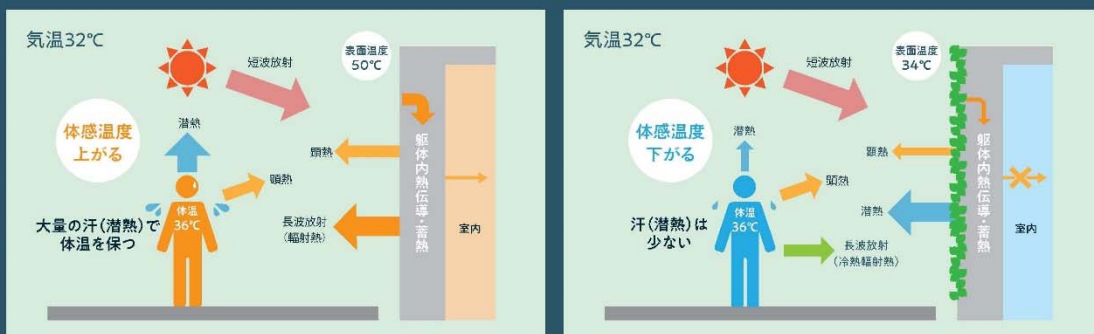
バーティカル ガーデン
Vertical GARDENS

もしも、街なかの壁が
みどりに変わったら…

壁面緑化で、都市はどう変わる？



壁面緑化の熱収支・昼



壁面緑化は、高密度に都市化された空間でも、垂直な壁に一面のみどりを創り出せる手法です。植物の暮らしに適した環境がない空間でも、土、水、太陽の光などの代わりに植栽基盤としてつくりだす技術により、建物を植物で包みこむような、緑豊かな都市環境を創り出すことができます。

壁面緑化は世界各国で注目されています。我が国では、設置条件の違いにきめ細やかに対応した多様な手法が、研究者たちにより開発されてきました。

たとえば、華やかさが求められる場所に適した演出性、長期的な植物生育を期待する安定性、台風など自然災害へも配慮した安全性など、用いる植物材料の豊富とあいまって、現場のニーズに応じた技術の充実度は、世界の中でも特筆すべきものといえます。

バーティカル ガーデنز
Vertical GARDENS

もしも、街なかの壁が
みどりに変わったら…

見てみよう 触ってみよう
未来の都市空間を、みどりで包む技術

ここでは、我が国の壁面緑化 (Vertical Garden) 技術の
代表的なものをジャンルごとに展示しています

未来の都市空間を、みどりで包むいろいろな技術。ぜひ、よく見て触って、その仕組みや工夫の面白さを御覧ください。このような緑化技術を使えば、わたしたちの日々の暮らしにあるどんな壁も、みどり豊かな空間に変わります。

様々なジャンルの壁面緑化技術

壁面基盤型	直接登はん型	間接登はん型	下垂型	壁前植栽型	緑のカーテン型
<p>壁面に設置した基盤に生育</p>	<p>壁面に付着し登はん</p>	<p>登はん補助資材に絡み付き登はん</p>	<p>上部から垂れ下がる</p>	<p>自立植物</p>	<p></p>
<p>壁面基盤型の詳細</p>					

<p>シート・ポケット型</p>	<p>ポット差込型</p>	<p>パネル型</p>	<p>トイ型</p>	<p>シート型 (現場施工)</p>
------------------	---------------	-------------	------------	--------------------

全国都市緑化
かわさきフェア
公式 WEB サイトはこちら



問合せ先

公益財団法人 都市緑化機構 小松尚美、上野芳裕、今井一隆 電話 03-5216-7191
川崎市建設緑政局緑化フェア推進室 小酒井淑乃、岸智規 電話 044-200-1735



&



『全国都市緑化かわさきフェア』 & 『GREEN×EXPO 2027』 連携フォーラム

持続可能な都市の未来をつくる

～全国都市緑化かわさきフェアからGREEN×EXPO 2027へ～

2024年10月19日(土)から開幕する『全国都市緑化かわさきフェア』と、2027年3月19日(金)から約半年にわたり開催される『GREEN×EXPO 2027(2027年国際園芸博覧会)』(開催地:横浜市・旧上瀬谷通信施設)とのコラボレーションにより、これからの持続可能なまちづくりを語る連携フォーラムを実施します。

参加無料
定員300名
事前申込制
(先着順)

2024年**11月6日(水)**13:00～15:00

カルッツかわさき

川崎市スポーツ・文化総合センター 2階ホール

川崎市川崎区富士見1-1-4

お申し込みはこちらから

応募期間

11/4(月)まで

<https://logoform.jp/form/FUQz/703911>



第一部

基調講演



涌井 史郎氏

造園家、GREEN×EXPO ラボ チェアパーソン
東京都市大学特別教授、岐阜県立森林文化アカデミー学長

東京農業大学農学部造園学科に学んだ後、(株)石勝エクステリアを設立。
国際博覧会「愛・地球博」会場演出総合プロデューサーはじめ、ハウステンボス、首都高犬伏ジャンクションなど多くのランドスケープ計画に携わる。国や地方公共団体、各種委員会組織を多数歴任。

第二部

パネルディスカッション

ファシリテーター 涌井 史郎氏

パネリスト



隈 研吾氏

建築家、
GREEN×EXPO ラボ
マスターアーキテクト

1990年、隈研吾建築都市設計事務所設立。慶應義塾大学教授、東京大学教授を経て、現在、東京大学特別教授・名誉教授。50を超える国々でプロジェクトが進行中。自然と技術と人間の新しい関係を切り開く建築を提案。全国都市緑化かわさきフェアでは、GREEN×EXPO 2027 出展に参画。主な著書に『隈研吾 オノマトペ 建築 接感性』(エクスナレツジ)、『日本の建築』(岩波新書)、他多数。

©Designhouse



吉高 まり氏

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社フェロー(サステナビリティ)、(公社)2027年国際園芸博覧会協会理事、同協会持続可能性有識者委員会委員

東京大学教養学部客員教授。米国ミシガン大学環境・サステナビリティ大学院(現)科学修士。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科博士(学術)。環境金融コンサルティング業務に長年従事。現在は多様なセクターに、サステナブル経営やファイナンスの領域についてアドバイス等を提供。



鎌原 宜文氏

国土交通省 都市局大臣官房
審議官(都市生活環境・
2027国際園芸博覧会担当)

1994年、建設省(現国土交通省)入省。国土交通省大臣官房、道路局、総合政策局等での勤務、また独立行政法人や自治体への出向等を経て、2024年10月、現在の職に就任し、都市緑化行政、国際園芸博覧会の開催準備等に従事。